

スポーツ健康科学研究科

○ディプロマポリシー 本研究科は、特に地域における生涯スポーツや競技スポーツの振興・推進にかかわる諸問題を科学的に解決し、実践に役立たせることができる高度かつ専門的な知識や技能を身に付けた人材の育成を目的としている。学位については、次の要件を満たした者に授与する。

1. スポーツ健康科学にかかわる幅広い学識を身に付けている。
2. 地域における生涯スポーツ及び競技スポーツの振興・推進にかかわる今日的な課題を見出し、それを解決し社会に貢献することができる知識、技能及び実践力を身に付けている。
3. 修士論文の作成をとおして研究推進に必要な課題解決能力を身に付けている。

○カリキュラムポリシー

本研究科では、生涯スポーツと競技スポーツの2つの専門領域を設け、地域における体育・スポーツ・健康の普及・振興に関連する専門的知識・技能を身につけられるよう授業科目を配置している。

1. 生涯スポーツ領域は主に幼児から高齢者までの健常者や障害者の運動・スポーツ実践において、また、競技スポーツ領域は競技スポーツ（障害者を含む）の実践において、それぞれ必要となる企画立案・運営・指導等に関わる能力を育成することがねらいとなっている。
2. 2つの専門領域は、それぞれに重点を置いて学修することになるが、授業科目を共通科目と専門科目に分ける等、他の専門領域についても学修できるよう配慮したカリキュラムを編成している。
3. 企画立案・運営・指導等に関わる能力を育成するため、多数の演習科目を配置し、実践的に学べるよう配慮している。
4. 修了要件として修士論文の作成を義務づけ、1年次から担当する指導教員のもとで「研究方法演習」等の授業科目とあわせて論文作成に向けた指導を受ける。